

参考資料

米政策・水田農業政策に関するアンケート調査の回答データ及び調査票

平成 2 1 年 7 月

農林水産省

目 次

	頁
農 業 者	1
1. 現在の経営状況について教えてください	2
2. コメを生産されている場合、水稲作付面積を教えてください	2
3. 水田・畑作経営所得安定対策に加入していますか(20年産)	3
4. 生産調整は実施していますか(20年産)	3
5. 年齢を教えてください	3
6. お住まいの地域を教えてください	3
問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか	4
問1 (作付面積規模別)	4
問1 (生産調整実施状況別)	4
問1 (地域別)	5
問2-1 なぜ、生産調整を「現在のまま続ければよい」と考えていますか	5
問3-1 生産調整を見直すに当たってのポイントはどれですか	6
問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか	7
問3-2 (作付面積規模別)	7
問3-2 (生産調整実施状況別)	8
問3-2 (地域別)	8
問3-2 (水田・畑作経営所得安定対策加入状況別)	9
問4-1 なぜ、「生産調整をやめるべき」と考えていますか	9
問2-2、3-3、4-2 生産調整を「現在のまま続ける」、「見直す」、「やめる」ことの結果として、10年後の地域の水田農業はどうなっていると思いますか	10
都道府県・市町村	11
市町村の地域別回答状況	12
問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか	12
問2-1 なぜ、生産調整を「現在のまま続ければよい」と考えていますか	13
問3-1 生産調整を見直すに当たってのポイントはどれですか	13
問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか	14
問4-1 なぜ、「生産調整をやめるべき」と考えていますか	14
問2-2、3-3、4-2 生産調整を「現在のまま続ける」、「見直す」、「やめる」ことの結果として、10年後の地域の水田農業はどうなっていると思いますか	15

消費者	16
1. 年齢を教えてください	17
2. お住まいの地域はどちらですか	17
3. 農業や農政については主にどのような媒体から情報を得られていますか	17
4. あなたのご職業は何ですか	17
問1 我が国の農業・農村の状況について、どのように感じておられますか	18
問2 ここ5年程度で、あなたのお米の消費量は増えましたか、減りましたか	18
問3 なぜ、お米を食べなくなりましたか	18
問4 お米の生産調整は必要だと思いますか	19
問5 なぜ、「生産調整は必要である」と思いますか	19
問6 なぜ、「生産調整はやめるべき」と思いますか	20
問7-1 支援の仕方についてどう思いますか	20
問7-2 お米を生産する農家への支援についてどう思いますか	21
問8 お米の値段が変動した場合、あなたはお米の消費量をどうしていいと思いますか	21
消費者団体	22
問1 我が国の農業・農村の状況について、どのように感じておられますか	23
問2 ここ5年程度で、あなたのお米の消費量は増えましたか、減りましたか	23
問3 なぜ、お米を食べなくなりましたか	23
問4 お米の生産調整は必要だと思いますか	24
問5 なぜ、「生産調整は必要である」と思いますか	24
問6 なぜ、「生産調整はやめるべき」と思いますか	24
問7-1 支援の仕方についてどう思いますか	25
問7-2 お米を生産する農家への支援についてどう思いますか	25
問8 お米の値段が変動した場合、あなたはお米の消費量をどうしていいと思いますか	25
農業者団体	26

○農業者向け調査票

○消費者向け調査票

注：以下の表における割合は、表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値が一致しない場合がある。

農 業 者

対 象	対象人数	回答人数	回収率
農林水産省 情報交流モニター	2,500人	1,954人	78.2%
農林水産省「生産者の米穀 現在高等調査」客体	8,310人	6,121人	73.7%
合 計	10,810人	8,075人	74.7%

米政策・水田農業政策に関するアンケート

1. 現在の経営状況について教えてください。

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1: 主業農家(農業所得が全体の50%以上で、65歳未満の農業従事者がいる)	3,264	40.4
①コメ主体	1,262	15.6
②野菜主体	741	9.2
③果樹主体	332	4.1
④畜産主体	325	4.0
⑤その他	384	4.8
無回答	220	2.7
2: 準主業農家(農業所得が全体の50%未満で、65歳未満の農業従事者がいる)	2,305	28.5
①コメ主体	1,519	18.8
②野菜主体	155	1.9
③果樹主体	86	1.1
④畜産主体	25	0.3
⑤その他	222	2.7
無回答	298	3.7
3: 副業的農家(65歳未満の農業従事者がいない)	2,255	27.9
①コメ主体	1,382	17.1
②野菜主体	166	2.1
③果樹主体	73	0.9
④畜産主体	36	0.4
⑤その他	366	4.5
無回答	232	2.9
無回答	251	3.1

2. コメを生産されている場合、水稻作付面積を教えてください。

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1ha未満	3,501	43.4
1: 0.5ha未満	1,951	24.2
2: 0.5ha以上 1ha未満	1,550	19.2
1ha以上 3ha未満	2,151	26.6
3: 1ha以上 2ha未満	1,437	17.8
4: 2ha以上 3ha未満	714	8.8
3ha以上10ha未満	1,348	16.7
5: 3ha以上 5ha未満	702	8.7
6: 5ha以上 7ha未満	344	4.3
7: 7ha以上10ha未満	302	3.7
10ha以上	515	6.4
8: 10ha以上15ha未満	240	3.0
9: 15ha以上20ha未満	132	1.6
10: 20ha以上	143	1.8
無回答	560	6.9

3. 水田・畑作経営所得安定対策に加入していますか。(20年産)

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1: 加入している	4,628	57.3
2: 加入していないが、今後加入する予定である	382	4.7
3: 加入しておらず、今後も加入する予定はない	2,695	33.4
無回答	370	4.6

4. 生産調整は実施していますか。(20年産)

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1: 実施している	6,357	78.7
2: 実施していない	1,226	15.2
無回答	492	6.1

5. 年齢を教えてください。

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1: 20歳代	19	0.2
2: 30歳代	162	2.0
3: 40歳代	844	10.5
4: 50歳代	2,360	29.2
5: 60歳以上	4,553	56.4
無回答	137	1.7

6. お住まいの地域を教えてください。

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1: 北海道	281	3.5
2: 東北	1,499	18.6
3: 北陸	854	10.6
4: 関東	1,436	17.8
5: 東海	692	8.6
6: 近畿	795	9.8
7: 中国	848	10.5
8: 四国	465	5.8
9: 九州・沖縄	1,084	13.4
無回答	121	1.5

～生産調整について～

問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。

	回答数	%
全体	8,075	100.0
1: 現在のまま続ければよい	2,051	25.4
2: 生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき	1,656	20.5
3: 農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき	3,121	38.7
4: 生産調整をやめるべき	1,054	13.1
無回答	193	2.4

問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。(作付面積規模別)

回 答	1ha未満	1ha以上3ha未満	3ha以上10ha未満	10ha以上	無回答	計
1: 現在のまま続ければよい	933 26.6%	558 25.9%	330 24.5%	143 27.8%	87	2,051
2: 生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき	505 14.4%	538 25.0%	392 29.1%	174 33.8%	47	1,656
3: 農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき	1,466 41.9%	779 36.2%	451 33.5%	149 28.9%	276	3,121
4: 生産調整をやめるべき	544 15.5%	243 11.3%	151 11.2%	35 6.8%	81	1,054
無回答	53 1.5%	33 1.5%	24 1.8%	14 2.7%	69	193
計	3,501 100.0%	2,151 100.0%	1,348 100.0%	515 100.0%	560	8,075

問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。(生産調整実施状況別)

回 答	実施者	非実施者	無回答	総計
1: 現在のまま続ければよい	1,762 27.7%	207 16.9%	82	2,051
2: 生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき	1,572 24.7%	39 3.2%	45	1,656
3: 農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき	2,237 35.2%	665 54.2%	219	3,121
4: 生産調整をやめるべき	700 11.0%	278 22.7%	76	1,054
無回答	86 1.4%	37 3.0%	70	193
全体	6,357 100.0%	1,226 100.0%	492	8,075

問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。(地域別)

回 答	北海道	東北	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	無回答	計
1	72 25.6%	368 24.5%	221 25.9%	312 21.7%	180 26.0%	207 26.0%	214 25.2%	125 26.9%	316 29.2%	36	2,051
2	114 40.6%	408 27.2%	257 30.1%	243 16.9%	95 13.7%	114 14.3%	110 13.0%	48 10.3%	244 22.5%	23	1,656
3	72 25.6%	547 36.5%	254 29.7%	613 42.7%	277 40.0%	346 43.5%	359 42.3%	231 49.7%	390 36.0%	32	3,121
4	11 3.9%	159 10.6%	109 12.8%	221 15.4%	120 17.3%	108 13.6%	142 16.7%	53 11.4%	107 9.9%	24	1,054
無回答	12 4.3%	17 1.1%	13 1.5%	47 3.3%	20 2.9%	20 2.5%	23 2.7%	8 1.7%	27 2.5%	6	193
計	281 100.0%	1,499 100.0%	854 100.0%	1,436 100.0%	692 100.0%	795 100.0%	848 100.0%	465 100.0%	1,084 100.0%	121	8,075

問2-1 なぜ、生産調整を「現在のまま続ければよい」と考えていますか。(複数選択可)
(生産調整を「現在のまま続ければよい」と答えた方への質問)

回答者数 2,051

	回答数	%
1: 米価の安定のためには、全体としての需給バランスをとる必要があるから	1,641	80.0
2: 需要のない余った水田を有効に活用する必要があるから	390	19.0
3: 主食用米以外を作ったときの助成金や価格が下落した場合の経営安定対策が自分の経営上必要だから	409	19.9
4: 団体や行政の方針の下に、地域ぐるみで取り組んでいるから	397	19.4
5: その他	101	4.9
無回答	16	0.8

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問3-1 生産調整を見直すに当たってのポイントはどれですか。(複数選択可)
(「生産調整を見直すべき」と答えた方への質問)

「生産調整を見直すべき」と答えた方		
	回答者数	4,777
	回答数	%
1:目標配分のやり方	1,001	21.0
2:達成・未達成の判断の仕方	689	14.4
3:未達成者・地域に対するペナルティ	1,444	30.2
4:主食用米以外の作物を作ったときの助成金の内容	2,120	44.4
5:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策の内容	2,468	51.7
6:政府備蓄米の買入れのやり方	871	18.2
7:その他	292	6.1
無回答	453	9.5

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

「生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき」と回答した方		
	回答者数	1,656
	回答数	%
1:目標配分のやり方	327	19.7
2:達成・未達成の判断の仕方	375	22.6
3:未達成者・地域に対するペナルティ	1,044	63.0
4:主食用米以外の作物を作ったときの助成金の内容	746	45.0
5:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策の内容	890	53.7
6:政府備蓄米の買入れのやり方	230	13.9
7:その他	93	5.6
無回答	40	2.4

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

「農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき」と回答した方		
	回答者数	3,121
	回答数	%
1:目標配分のやり方	674	21.6
2:達成・未達成の判断の仕方	314	10.1
3:未達成者・地域に対するペナルティ	400	12.8
4:主食用米以外の作物を作ったときの助成金の内容	1,374	44.0
5:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策の内容	1,578	50.6
6:政府備蓄米の買入れのやり方	641	20.5
7:その他	199	6.4
無回答	413	13.2

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。
(「生産調整を見直すべき」と回答した方への質問)

「生産調整を見直すべき」と回答した方の合計	回答数	%
全体	4,777	100.0
1: 主食用米以外の作物を作ったときの助成金	1,103	23.1
2: 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	2,763	57.8
□すべての農家に対する経営安定対策	671	14.0
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	1,829	38.3
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	263	5.5
3: 政府備蓄米の買入れ	193	4.0
無回答	718	15.0

「生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき」と回答した方	回答数	%
全体	1,656	100.0
1: 主食用米以外の作物を作ったときの助成金	355	21.4
2: 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	1,127	68.0
□すべての農家に対する経営安定対策	67	4.0
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	999	60.3
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	61	3.7
3: 政府備蓄米の買入れ	41	2.5
無回答	133	8.0

「農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき」と回答した方	回答数	%
全体	3,121	100.0
1: 主食用米以外の作物を作ったときの助成金	748	24.0
2: 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	1,636	52.5
□すべての農家に対する経営安定対策	604	19.4
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	830	26.6
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	202	6.5
3: 政府備蓄米の買入れ	152	4.9
無回答	585	18.7

問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。
(「生産調整を見直すべき」と回答した方への質問: 作付面積規模別)

回 答	1ha未満	1ha以上3ha未満	3ha以上10ha未満	10ha以上	無回答	総計
1: 主食用米以外の作物を作ったときの助成金	521 26.4%	273 20.7%	147 17.4%	61 18.9%	101	1,103
2: 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	1,044 53.0%	819 62.2%	536 63.5%	212 65.6%	152	2,763
□すべての農家に対する経営安定対策	325 16.5%	159 12.1%	93 11.0%	24 7.4%	70	671
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	646 32.8%	623 47.3%	371 44.0%	128 39.6%	61	1,829
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	73 3.7%	37 2.8%	72 8.5%	60 18.6%	21	263
3: 政府備蓄米の買入れ	93 4.7%	44 3.3%	31 3.7%	6 1.9%	19	193
無回答	313 15.9%	181 13.7%	129 15.3%	44 13.6%	51	718
総計	1,971 100.0%	1,317 100.0%	843 100.0%	323 100.0%	323	4,777

問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。
 (「生産調整を見直すべき」と回答した方への質問:生産調整実施状況別)

回 答	実施者	非実施者	無回答	総計
1:主食用米以外の作物を作ったときの助成金	854 22.4%	178 25.3%	71	1,103
2:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	2,314 60.7%	340 48.3%	109	2,763
□すべての農家に対する経営安定対策	398 10.4%	223 31.7%	50	671
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	1,727 45.3%	55 7.8%	47	1,829
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	189 5.0%	62 8.8%	12	263
3:政府備蓄米の買入れ	125 3.3%	53 7.5%	15	193
無回答	516 13.5%	133 18.9%	69	718
総計	3,809 100.0%	704 100.0%	264	4,777

問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。
 (「生産調整を見直すべき」と回答した方への質問:地域別)

回 答	北海道	東北	北陸	関東	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	無回答	総計
1	37 19.9%	194 20.3%	91 17.8%	197 23.0%	99 26.6%	113 24.6%	115 24.5%	85 30.5%	166 26.2%	6	1,103
2	114 61.3%	610 63.9%	339 66.3%	475 55.5%	205 55.1%	250 54.3%	251 53.5%	148 53.0%	350 55.2%	21	2,763
2-1	12 6.5%	105 11.0%	32 6.3%	126 14.7%	63 16.9%	82 17.8%	88 18.8%	64 22.9%	92 14.5%	7	671
2-2	87 46.8%	445 46.6%	278 54.4%	308 36.0%	113 30.4%	149 32.4%	140 29.9%	69 24.7%	226 35.6%	14	1,829
2-3	15 8.1%	60 6.3%	29 5.7%	41 4.8%	29 7.8%	19 4.1%	23 4.9%	15 5.4%	32 5.0%	0	263
3	1 0.5%	20 2.1%	21 4.1%	43 5.0%	16 4.3%	23 5.0%	29 6.2%	15 5.4%	23 3.6%	2	193
無回答	34 18.3%	131 13.7%	60 11.7%	141 16.5%	52 14.0%	74 16.1%	74 15.8%	31 11.1%	95 15.0%	26	718
総計	186 100.0%	955 100.0%	511 100.0%	856 100.0%	372 100.0%	460 100.0%	469 100.0%	279 100.0%	634 100.0%	55	4,777

問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。
(「生産調整を見直すべき」と回答した方への質問:水田・畑作経営安定対策加入状況別)

加入している	回答数	%
全体	2,838	100.0
1:主食用米以外の作物を作ったときの助成金	592	20.9
2:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	1,793	63.2
□すべての農家に対する経営安定対策	264	9.3
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	1,384	48.8
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	145	5.1
3:政府備蓄米の買入れ	77	2.7
無回答	376	13.2

加入していないが、今後加入する予定である	回答数	%
全体	225	100.0
1:主食用米以外の作物を作ったときの助成金	52	23.1
2:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	130	57.7
□すべての農家に対する経営安定対策	46	20.4
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	73	32.4
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	11	4.9
3:政府備蓄米の買入れ	8	3.6
無回答	35	15.6

加入しておらず、今後も加入する予定はない	回答数	%
全体	1,510	100.0
1:主食用米以外の作物を作ったときの助成金	408	27.0
2:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	746	49.5
□すべての農家に対する経営安定対策	315	20.9
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	335	22.2
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	96	6.4
3:政府備蓄米の買入れ	91	6.0
無回答	265	17.5

問4-1 なぜ、「生産調整をやめるべき」と考えていますか。
(「生産調整をやめるべき」と回答した方への質問)

	回答数	%
全体	1,054	100.0
1:生産調整をやめたら、何のしがらみもなく、自由にお米を作ることができるから	284	26.9
2:生産調整をやめて価格が下がっても、販売数量を拡大し、生産コストを下げたいけば、所得を確保できるから	107	10.2
3:生産調整を続ける限り、達成者、未達成者の不公平感が解消できないから	155	14.7
4:地域内での達成者、未達成者間の対立がなくなるから	16	1.5
5:生産調整に係る煩わしい事務手続きをしったり手間をかける必要がなくなるから	117	11.1
6:その他	190	18.0
無回答	185	17.6

問2-2、3-3、4-2 生産調整を「現在のまま続ける」、「見直す」、「やめる」ことの結果として、10年後の地域の水田農業はどうなっていると思いますか。

「現在のまま続ければよい」と回答した農業者	回答数	%
全体	2,051	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している	419	20.4
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない	590	28.8
3: わからない	981	47.8
無回答	61	3.0

「生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき」と回答した農業者	回答数	%
全体	1,656	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している	507	30.6
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない	456	27.5
3: わからない	586	35.4
無回答	107	6.5

「農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき」と回答した農業者	回答数	%
全体	3,121	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している	460	14.7
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない	1,146	36.7
3: わからない	1,083	34.7
無回答	432	13.8

「生産調整をやめるべき」と回答した農業者	回答数	%
全体	1,054	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している	299	28.4
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない	215	20.4
3: わからない	458	43.5
無回答	82	7.8

都 道 府 県 ・ 市 町 村

対 象	対象団体数	回答団体数	回収率
都道府県	47都道府県	47都道府県	100.0%
市町村	1,776市町村※	1,382市町村	77.8%

※「1,776市町村」は総務省公表値(平成21年5月5日現在)。

米政策・水田農業政策に関するアンケート

市町村の地域別回答状況

【市町村】	回答数	%
全体	1,382	100.0
北海道	116	8.4
東北	182	13.2
北陸	58	4.2
関東	343	24.8
東海	104	7.5
近畿	150	10.9
中国	78	5.6
四国	79	5.7
九州・沖縄	214	15.5
無回答	58	4.2

問1 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。

【都道府県】	回答数	%
全体	47	100.0
1: 現在のまま続ければよい	5	10.6
2: 生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき	1	2.1
3: 農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき	26	55.3
4: 生産調整をやめるべき	1	2.1
無回答	14	29.8

【市町村】	回答数	%
全体	1,382	100.0
1: 現在のまま続ければよい	245	17.7
2: 生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき	190	13.7
3: 農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき	691	50.0
4: 生産調整をやめるべき	217	15.7
無回答	39	2.8

問2-1 なぜ、生産調整を「現在のまま続ければよい」と考えていますか。(複数選択可)
(生産調整を「現在のまま続ければよい」と回答した地方公共団体への質問)

【都道府県】

回答者数 5

	回答数	%
1: 米価の安定のためには、全体としての需給バランスをとる必要があるから	5	100.0
2: 需要のない余った水田を有効に活用する必要があるから	3	60.0
3: 主食用米以外を作ったときの助成金や価格が下落した場合の経営安定対策が農家の経営上必要だから	3	60.0
4: 団体や行政の方針の下に、地域ぐるみで取り組んでいるから	2	40.0
5: その他	1	20.0
無回答	0	0.0

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

【市町村】

回答者数 245

	回答数	%
1: 米価の安定のためには、全体としての需給バランスをとる必要があるから	208	84.9
2: 需要のない余った水田を有効に活用する必要があるから	69	28.2
3: 主食用米以外を作ったときの助成金や価格が下落した場合の経営安定対策が農家の経営上必要だから	92	37.6
4: 団体や行政の方針の下に、地域ぐるみで取り組んでいるから	45	18.4
5: その他	21	8.6
無回答	1	0.4

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問3-1 生産調整を見直すに当たってのポイントはどれですか。(複数選択可)
(「生産調整を見直すべき」と回答した地方公共団体への質問)

【都道府県】

回答者数 27

	回答数	%
1: 目標配分のやり方	16	59.3
2: 達成・未達成の判断の仕方	7	25.9
3: 未達成者・地域に対するペナルティ	12	44.4
4: 主食用米以外の作物を作ったときの助成金の内容	26	96.3
5: 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策の内容	23	85.2
6: 政府備蓄米の買入れのやり方	3	11.1
7: その他	13	48.1
無回答	1	3.7

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

【市町村】

回答者数 881

	回答数	%
1: 目標配分のやり方	293	33.3
2: 達成・未達成の判断の仕方	140	15.9
3: 未達成者・地域に対するペナルティ	250	28.4
4: 主食用米以外の作物を作ったときの助成金の内容	498	56.5
5: 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策の内容	516	58.6
6: 政府備蓄米の買入れのやり方	124	14.1
7: その他	158	17.9
無回答	35	4.0

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問3-2 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。
(「生産調整をやめるべき」と回答した地方公共団体への質問)

【都道府県】

	回答数	%
全体	27	100.0
1:主食用米以外の作物を作ったときの助成金	10	37.0
2:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	11	40.7
□すべての農家に対する経営安定対策	1	3.7
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	8	29.6
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	2	7.4
3:政府備蓄米の買入れ	0	0.0
無回答	6	22.2

【市町村】

	回答数	%
全体	881	100.0
1:主食用米以外の作物を作ったときの助成金	285	32.3
2:主食用米の価格が下落したときの経営安定対策	492	55.8
□すべての農家に対する経営安定対策	132	15.0
□生産調整を達成している農家に対する経営安定対策	290	32.9
□米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策	70	7.9
3:政府備蓄米の買入れ	24	2.7
無回答	80	9.1

問4-1 なぜ、「生産調整をやめるべき」と考えていますか。
(「生産調整をやめるべき」と回答した地方公共団体への質問)

【都道府県・市町村】

	回答数	%
全体	218	100.0
1:生産調整をやめたら、農家は何のしがらみもなく、自由にお米を作ることができるから	41	18.8
2:生産調整をやめて価格が下がっても、販売数量を拡大し、生産コストを下げていけば、農家は所得を確保できるから	17	7.8
3:生産調整を続ける限り、達成者、未達成者の不公平感が解消できないから	26	11.9
4:地域内での達成者、未達成者間の対立がなくなるから	1	0.5
5:生産調整に係る煩わしい事務手続きをしたり手間をかける必要がなくなるから	18	8.3
6:その他	64	29.4
無回答	51	23.4

問2-2、3-3、4-2 生産調整を「現在のまま続ける」、「見直す」、「やめる」ことの結果として、10年後の地域の水田農業はどうなっていると思いますか。

【都道府県】

「生産調整を現在のまま続けられよう」と回答		回答数	%
全体		5	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		4	80.0
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		0	0.0
3: わからない		1	20.0
無回答		0	0.0

「生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき」と回答		回答数	%
全体		1	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		1	100.0
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		0	0.0
3: わからない		0	0.0
無回答		0	0.0

「生産調整は農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき」と回答		回答数	%
全体		26	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		14	53.8
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		0	0.0
3: わからない		10	38.5
無回答		2	7.7

「生産調整をやめるべき」と回答		回答数	%
全体		1	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		1	100.0
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		0	0.0
3: わからない		0	0.0
無回答		0	0.0

【市町村】

「生産調整を現在のまま続けられよう」と回答		回答数	%
全体		245	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		49	20.0
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		42	17.1
3: わからない		145	59.2
無回答		9	3.7

「生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき」と回答		回答数	%
全体		190	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		74	38.9
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		18	9.5
3: わからない		92	48.4
無回答		6	3.2

「農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき」と回答		回答数	%
全体		691	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		182	26.3
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		88	12.7
3: わからない		372	53.8
無回答		49	7.1

「生産調整をやめるべき」と回答		回答数	%
全体		217	100.0
1: 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している		76	35.0
2: 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない		13	6.0
3: わからない		112	51.6
無回答		16	7.4

消費者

対 象	対象人数	回答人数	回収率
農林水産省 情報交流モニター	1,500人	1,322人	88.1%
インターネット委託調査 (株式会社ビデオリサーチ)	27,753人	2,237人	8.1%
合 計	29,253人	3,559人	12.2%

米政策・水田農業政策に関するアンケート

1. 年齢を教えてください。

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:20歳代	560	15.7
2:30歳代	752	21.1
3:40歳代	684	19.2
4:50歳代	873	24.5
5:60歳以上	690	19.4
無回答	0	0.0

2. お住まいの地域はどちらですか。

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:北海道	165	4.6
2:東北	310	8.7
3:北陸	223	6.3
4:関東	1,082	30.4
5:東海	312	8.8
6:近畿	506	14.2
7:中国	273	7.7
8:四国	192	5.4
9:九州・沖縄	496	13.9
無回答	0	0.0

3. 農業や農政については主にどのような媒体から情報を得られていますか。

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:自身の経験から	155	4.4
2:テレビ	1,321	37.1
3:新聞	1,043	29.3
4:雑誌、書籍	174	4.9
5:知人から聞いた	151	4.2
6:インターネット	390	11.0
7:その他	66	1.9
無回答	259	7.3

4. あなたのご職業は何ですか。

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:農林漁業	17	0.5
2:自営業・自由業	377	10.6
3:会社員(役員含む)	1,215	34.1
4:公務員	109	3.1
5:パート・アルバイト	461	13.0
6:専業主婦(主夫)	876	24.6
7:上記以外(学生、無職など)	502	14.1
無回答	2	0.1

～農政全般についてお伺いします～

問1 我が国においては、カロリーベースの食料自給率(食料に含まれるカロリー(供給熱量)を用いて計算した自給率)が4割であり、海外に食料の6割を依存していますが、農業、農村は、
 ① 農業所得の減少(6.1兆円(平成2年)→3.4兆円(平成17年))
 ② 高齢化の進展(基幹的農業従事者(自分の職業が農業だと自覚している人)のうち65歳以上の割合は約6割)
 ③ 農地面積の減少(耕作放棄地面積は38.6万ha(埼玉県とほぼ同じ大きさ))
 ④ 構造改革の遅れ(稲作をはじめとする土地利用型農業においては、主に米作や麦作で生計を立てている農家の割合は約4割に過ぎず、野菜農家(約8割)、畜産農家(約9割)と比べ、依然として規模の小さい経営が多い)
 に直面しております。
 このような我が国の農業・農村の状況について、どのように感じておられますか。

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:問題であり政策の見直しが必要であると思う	2,522	70.9
2:どちらかという問題であり政策の見直しが必要であると思う	844	23.7
3:どちらでもない	137	3.8
4:どちらかという問題であるとは思わない	27	0.8
5:問題であるとは思わない	22	0.6
無回答	7	0.2

～お米と生産調整(マスコミ報道で減反と言われているもの)について～

問2 ここ5年程度で、あなたのお米の消費量は増えましたか、減りましたか。

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:増えた	866	24.3
2:変わらない	2,204	61.9
3:減った	456	12.8
4:わからない	32	0.9
無回答	1	0.0

問3 なぜ、お米を食べなくなりましたか。(複数選択可)
 (ここ5年程度でお米の消費量が「減った」と答えた方への質問)

	回答者数	456
	回答数	%
1:パンや麺などを食べる回数が増えたから	255	55.9
2:おかずを増やしてご飯を食べる量を減らしているから	132	28.9
3:ダイエットや健康のためにご飯の量を減らしているから	157	34.4
4:お米は高いから	28	6.1
5:炊飯調理が面倒だから	39	8.6
6:ご飯はおいしくないから	4	0.9
7:その他	86	18.9
無回答	1	0.2

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問4 お米の生産調整(下記の※をお読みください)は必要だと思いますか。

※

- 米の1人当たりの年間消費量は、この半世紀で半分(118kg(昭和37年)→61.4kg(平成19年))に減少してきました。この結果、日本の水田の約6割で主食用米の需要がまかなえます。
- 上の状況の下、生産調整は、
 - ① 米の需給の均衡を図り、米価の安定を図るために行っています。
 - ② 現在の政策は、単なる休耕(水田や畑などで何も作らないでおくこと)ではなく、主食用米を作る必要のない約4割の水田で、主食用のお米を作ることを抑制し、自給率の低い麦・大豆・飼料作物等(いわゆる転作作物)を生産しようとするものです。
 - ③ このために平成21年度約2千億円(昭和46年からの約40年間で約7兆円)の予算を使っています。
 - ④ なお、麦や大豆の自給率(重量ベース:重さで計算した自給率)は、昭和46年の麦14%(うち小麦8%)、大豆4%(うち食用大豆15%)から、現在は麦13%(うち小麦14%)、大豆5%(うち食用大豆21%)となっています。
 - ⑤ 最近では、生産調整の1つのやり方として、米粉用米(米粉パン、米粉うどんに使われている、小麦粉の代替となるお米)や飼料用米(家畜のエサとなるお米)の生産も推進しています。

【消費者合計】

	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:今後も生産調整は必要である	1,169	32.8
2:生産調整はやめるべきである	1,416	39.8
☐ 麦・大豆などの自給率向上対策は別途講ずるべき	1,259	35.4
☐ 何も必要ない	157	4.4
3:どちらとも言えない	792	22.3
4:わからない	173	4.9
無回答	9	0.3

【モニター】

	回答数	%
全体	1,322	100.0
1:今後も生産調整は必要である	561	42.4
2:生産調整はやめるべきである	556	42.1
☐ 麦・大豆などの自給率向上対策は別途講ずるべき	500	37.8
☐ 何も必要ない	56	4.2
3:どちらとも言えない	159	12.0
4:わからない	37	2.8
無回答	9	0.7

【委託調査】

	回答数	%
全体	2,237	100.0
1:今後も生産調整は必要である	608	27.2
2:生産調整はやめるべきである	860	38.4
☐ 麦・大豆などの自給率向上対策は別途講ずるべき	759	33.9
☐ 何も必要ない	101	4.5
3:どちらとも言えない	633	28.3
4:わからない	136	6.1
無回答	0	0.0

問5 なぜ、「生産調整は必要である」と思いますか。(複数選択可)
(「生産調整は必要である」と回答した方への質問)

	回答者数	1,169
	回答数	%
1:自給率向上のためには、お米を作る必要のない水田を有効に活用する必要があるから	959	82.0
2:米価が下がって農家の経営が成り立たなくなると困るから	505	43.2
3:その他	62	5.3
無回答	0	0.0

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問6 なぜ、「生産調整はやめるべき」と思いますか。(複数選択可)
(「生産調整はやめるべき」と回答した方への質問)

回答者数 1,416		
	回答数	%
1:何を生産するかは、農家が自分で考えるべきだから	933	65.9
2:主食用のお米の生産が増加し、お米の値段が下がるから	374	26.4
3:農業の競争力向上・コストダウンにつながるから	674	47.6
4:税金を投入すべきものではないから	398	28.1
5:その他	191	13.5
無回答	11	0.8

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問7-1 支援の仕方についてどう思いますか。

【消費者合計】		
	回答数	%
全体	3,559	100.0
1:農家の経営が成り立つよう、仮に税金での負担が増えたとしても、国からの補助金などで支援を行っていくべき	1,180	33.2
2:消費者が、少々高くても国産品を買うことにより支援し、税金による支援は維持又は小さくすべき	1,827	51.3
3:特に支援しなくてもよい	247	6.9
4:わからない	292	8.2
無回答	13	0.4

【モニター】		
	回答数	%
全体	1,322	100.0
1:農家の経営が成り立つよう、仮に税金での負担が増えたとしても、国からの補助金などで支援を行っていくべき	455	34.4
2:消費者が、少々高くても国産品を買うことにより支援し、税金による支援は維持又は小さくすべき	726	54.9
3:特に支援しなくてもよい	71	5.4
4:わからない	57	4.3
無回答	13	1.0

【委託調査】		
	回答数	%
全体	2,237	100.0
1:農家の経営が成り立つよう、仮に税金での負担が増えたとしても、国からの補助金などで支援を行っていくべき	725	32.4
2:消費者が、少々高くても国産品を買うことにより支援し、税金による支援は維持又は小さくすべき	1,101	49.2
3:特に支援しなくてもよい	176	7.9
4:わからない	235	10.5
無回答	0	0.0

問7-2 お米については、大規模農家など主として農業所得で生活している農家(主業農家)が約4割、主として農業以外の所得で生活している農家が約6割を生産しています。こうしたお米を生産する農家への支援についてどう思いますか。

【消費者合計】	回答数	%
全体	3,559	100.0
1: 大規模農家など、農業所得で生活している農家を中心に支援すべき	1,087	30.5
2: お米を生産する農家に広く支援すべき	1,715	48.2
3: わからない	743	20.9
無回答	14	0.4

【モニター】	回答数	%
全体	1,322	100.0
1: 大規模農家など、農業所得で生活している農家を中心に支援すべき	424	32.1
2: お米を生産する農家に広く支援すべき	647	48.9
3: わからない	237	17.9
無回答	14	1.1

【委託調査】	回答数	%
全体	2,237	100.0
1: 大規模農家など、農業所得で生活している農家を中心に支援すべき	663	29.6
2: お米を生産する農家に広く支援すべき	1,068	47.7
3: わからない	506	22.6
無回答	0	0.0

問8 お米の値段が変動した場合、あなたはお米の消費量を どうしていいと思いますか。

値段が上がった場合	回答数	%
全体	3,559	100.0
1: 増やしていきたい	65	1.8
2: 減らしていきたい	762	21.4
3: 変わらない	2,558	71.9
4: わからない	172	4.8
無回答	2	0.1

値段が同程度の場合	回答数	%
全体	3,559	100.0
1: 増やしていきたい	464	13.0
2: 減らしていきたい	49	1.4
3: 変わらない	3,004	84.4
4: わからない	40	1.1
無回答	2	0.1

値段が下がった場合	回答数	%
全体	3,559	100.0
1: 増やしていきたい	1,297	36.4
2: 減らしていきたい	25	0.7
3: 変わらない	2,190	61.5
4: わからない	45	1.3
無回答	2	0.1

消費者団体

対 象	対象団体	回答団体	回収率
消費者団体	22団体	9団体	40.9%

米政策・水田農業政策に関するアンケート

～農政全般についてお伺いします～

問1 我が国においては、カロリーベースの食料自給率(食料に含まれるカロリー(供給熱量)を用いて計算した自給率)が4割であり、海外に食料の6割を依存していますが、農業、農村は、

- ① 農業所得の減少(6.1兆円(平成2年)→3.4兆円(平成17年))
- ② 高齢化の進展(基幹的農業従事者(自分の職業が農業だと自覚している人)のうち65歳以上の割合は約6割)
- ③ 農地面積の減少(耕作放棄地面積は38.6万ha(埼玉県とほぼ同じ大きさ))
- ④ 構造改革の遅れ(稲作をはじめとする土地利用型農業においては、主に米作や麦作で生計を立てている農家の割合は約4割に過ぎず、野菜農家(約8割)、畜産農家(約9割)と比べ、依然として規模の小さい経営が多い)

に直面しております。
このような我が国の農業・農村の状況について、どのように感じておられますか。

	回答数	%
現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。	9	100.0
1:問題であり政策の見直しが必要であると思う	7	77.8
2:どちらかという問題であり政策の見直しが必要であると思う	1	11.1
3:どちらでもない	0	0.0
4:どちらかという問題であるとは思わない	0	0.0
5:問題であるとは思わない	0	0.0
無回答	1	11.1

～お米と生産調整(マスコミ報道で減反と言われているもの)について～

問2 ここ5年程度で、あなたのお米の消費量は増えましたか、減りましたか。

	回答数	%
全体	9	100.0
1:増えた	1	11.1
2:変わらない	7	77.8
3:減った	1	11.1
4:わからない	0	0.0
無回答	0	0.0

問3 なぜ、お米を食べなくなりましたか。(複数選択可)
(ここ5年程度でお米の消費量が「減った」と答えた団体への質問)

	回答者数	1
	回答数	%
1:パンや麺などを食べる回数が増えたから	0	0.0
2:おかずを増やしてご飯を食べる量を減らしているから	1	100.0
3:ダイエットや健康のためにご飯の量を減らしているから	1	100.0
4:お米は高いから	0	0.0
5:炊飯調理が面倒だから	0	0.0
6:ご飯はおいしくないから	0	0.0
7:その他	0	0.0
無回答	0	0.0

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問4 お米の生産調整(下記の※をお読みください)は必要だと思いますか。

※

- 米の1人当たりの年間消費量は、この半世紀で半分(118kg(昭和37年)→61.4kg(平成19年))に減少してきました。この結果、日本の水田の約6割で主食用米の需要がまかなえます。
- 上の状況の下、生産調整は、
 - ① 米の需給の均衡を図り、米価の安定を図るために行っています。
 - ② 現在の政策は、単なる休耕(水田や畑などで何も作らないでおくこと)ではなく、主食用米を作る必要のない約4割の水田で、主食用のお米を作ることを抑制し、自給率の低い麦・大豆・飼料作物等(いわゆる転作作物)を生産しようとするものです。
 - ③ このために平成21年度約2千億円(昭和46年からの約40年間で約7兆円)の予算を使っています。
 - ④ なお、麦や大豆の自給率(重量ベース:重さで計算した自給率)は、昭和46年の麦14%(うち小麦8%)、大豆4%(うち食用大豆15%)から、現在は麦13%(うち小麦14%)、大豆5%(うち食用大豆21%)となっています。
 - ⑤ 最近では、生産調整の1つのやり方として、米粉用米(米粉パン、米粉うどんに使われている、小麦粉の代替となるお米)や飼料用米(家畜のエサとなるお米)の生産も推進しています。

	回答数	%
全体	9	100.0
1:今後も生産調整は必要である	3	33.3
2:生産調整はやめるべきである	5	55.6
☐ 麦・大豆などの自給率向上対策は別途講ずるべき	5	55.6
☐ 何も必要ない	0	0.0
3:どちらとも言えない	0	0.0
4:わからない	1	11.0
無回答	0	0.0

問5 なぜ、「生産調整は必要である」と思いますか。(複数選択可)

(「生産調整は必要である」と回答した団体への質問)

回答者数 3

	回答数	%
1:自給率向上のためには、お米を作る必要のない水田を有効に活用する必要があるから	2	66.7
2:米価が下がって農家の経営が成り立たなくなると困るから	1	33.3
3:その他	1	33.3
無回答	0	0.0

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問6 なぜ、「生産調整はやめるべき」と思いますか。(複数選択可)

(「生産調整はやめるべき」と回答した団体への質問)

回答者数 5

	回答数	%
1:何を生産するかは、農家が自分で考えるべきだから	3	60.0
2:主食用のお米の生産が増加し、お米の値段が下がるから	1	20.0
3:農業の競争力向上・コストダウンにつながるから	2	40.0
4:税金を投入すべきものではないから	1	20.0
5:その他	2	40.0
無回答	0	0.0

注)割合は、回答者数(実人数)に占める割合である。

問7-1 支援の仕方についてどう思いますか。

	回答数	%
全体	9	100.0
1: 農家の経営が成り立つよう、仮に税金での負担が増えたとしても、国からの補助金などで支援を行っていくべき	6	66.7
2: 消費者が、少々高くても国産品を買うことにより支援し、税金による支援は維持又は小さくすべき	2	22.2
3: 特に支援しなくてもよい	0	0.0
4: わからない	1	11.1
無回答	0	0.0

問7-2 お米については、大規模農家など主として農業所得で生活している農家(主業農家)が約4割、主として農業以外の所得で生活している農家が約6割を生産しています。こうしたお米を生産する農家への支援についてどう思いますか。

	回答数	%
全体	9	100.0
1: 大規模農家など、農業所得で生活している農家を中心に支援すべき	5	55.6
2: お米を生産する農家に広く支援すべき	3	33.3
3: わからない	0	0.0
無回答	1	11.1

問8 お米の値段が変動した場合、あなたはお米の消費量を どうしていこうと思いますか。

値段が上がった場合

	回答数	%
全体	9	100.0
1: 増やしていきたい	0	0.0
2: 減らしていきたい	0	0.0
3: 変わらない	8	88.9
4: わからない	1	11.1
無回答	0	0.0

値段が同程度の場合

	回答数	%
全体	9	100.0
1: 増やしていきたい	0	0.0
2: 減らしていきたい	0	0.0
3: 変わらない	9	100.0
4: わからない	0	0.0
無回答	0	0.0

値段が下がった場合

	回答数	%
全体	9	100.0
1: 増やしていきたい	1	11.1
2: 減らしていきたい	0	0.0
3: 変わらない	8	88.9
4: わからない	0	0.0
無回答	0	0.0

農 業 者 団 体

◎ 対象とした農業者団体(5団体)のすべてから回答があったが、単一回答選択問について複数選択としてきたものや、「回答選択が困難で無回答」としたものが多く、集計上、有効なものはない。

米政策・水田農業政策に関するアンケート（農業者の皆様へ）

〔調 査 票〕 兼 〔回答用紙〕

本調査でご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを直接この用紙にご記入ください。

（それぞれ該当する選択肢の番号を1つ○で囲んでください。ただし、質問に「複数選択可」とあるものはのぞく。）

～はじめに～

この調査を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお伺いします。

1. 現在の経営状況について教えてください。

（1～3のいずれかを○で囲んだ上で、①～⑤のいずれかも○で囲んでください）

- 1：主業農家（農業所得が全体の50%以上で、65歳未満の農業従事者がいる）
→①コメ主体 ②野菜主体 ③果樹主体 ④畜産主体 ⑤その他
- 2：準主業農家（農業所得が全体の50%未満で、65歳未満の農業従事者がいる）
→①コメ主体 ②野菜主体 ③果樹主体 ④畜産主体 ⑤その他
- 3：副業的農家（65歳未満の農業従事者がいない）
→①コメ主体 ②野菜主体 ③果樹主体 ④畜産主体 ⑤その他

2. コメを生産されている場合、水稻作付面積を教えてください。

- | | | |
|---------------------------|----------------|----------------|
| 1：0.5ha未満 | 2：0.5ha以上1ha未満 | 3：1ha以上2ha未満 |
| 4：2ha以上3ha未満 | 5：3ha以上5ha未満 | 6：5ha以上7ha未満 |
| 7：7ha以上10ha未満 | 8：10ha以上15ha未満 | 9：15ha以上20ha未満 |
| 10：20ha以上（ ha） | | |

3. 水田・畑作経営所得安定対策に加入していますか。（20年産）

- 1：加入している
- 2：加入していないが、今後加入する予定である
- 3：加入しておらず、今後も加入する予定はない

4. 生産調整は実施していますか。(20年産)

1 : 実施している 2 : 実施していない

5. 年齢を教えてください。

1 : 20歳代 2 : 30歳代 3 : 40歳代 4 : 50歳代 5 : 60歳以上

6. お住まいの地域を教えてください。

1 : 北海道 2 : 東北 3 : 北陸 4 : 関東 5 : 東海
6 : 近畿 7 : 中国 8 : 四国 9 : 九州・沖縄

～生産調整について～

＜問 1＞ 現在の生産調整のやり方について、どう思いますか。

- 1：現在のまま続ければよい
- 2：生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき
- 3：農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき
- 4：生産調整をやめるべき

〔問 1 で 1（生産調整を「現在のまま続ければよい」と回答した方におたずねします）〕

＜問 2－1＞ なぜ、生産調整を「現在のまま続ければよい」と考えていますか。（以下から複数選択可）

- 1：米価の安定のためには、全体としての需給バランスをとる必要があるから
- 2：需要のない余った水田を有効に活用する必要があるから
- 3：主食用米以外を作ったときの助成金や価格が下落した場合の経営安定対策が自分の経営上必要だから
- 4：団体や行政の方針の下に、地域ぐるみで取り組んでいるから
- 5：その他（ ）

＜問 2－2＞ 「生産調整を現在のまま続ける」ことの結果として、10 年後のあなたの地域の水田農業はどうなっていると思いますか。

- 1：必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している
- 2：十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない
- 3：わからない

〔問 1 で 2 (「生産調整を強化し、確実に行われるように見直すべき」) 又は 3 (生産調整は「農家の自主性や経営の自由度が高まるように見直すべき」) と回答した方におたずねします〕

＜問 3－1＞ 生産調整を見直すに当たってのポイントはどれですか。
(以下から複数選択可)

- 1 : 目標配分のやり方
- 2 : 達成・未達成の判断の仕方
- 3 : 未達成者・地域に対するペナルティ
- 4 : 主食用米以外の作物を作ったときの助成金の内容
- 5 : 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策の内容
- 6 : 政府備蓄米の買入れのやり方
- 7 : その他 ()

＜問 3－2＞ 税金の使い方として、次の施策の中でどれを最も重視すべきだと思いますか。

- 1 : 主食用米以外の作物を作ったときの助成金
- 2 : 主食用米の価格が下落したときの経営安定対策
(2 を○で囲んだ方は以下のいずれかにチェックを入れてください)
 - ☐ すべての農家に対する経営安定対策
 - ☐ 生産調整を達成している農家に対する経営安定対策
 - ☐ 米への依存度の高い、規模の大きな農家に対する経営安定対策
- 3 : 政府備蓄米の買入れ

＜問 3－3＞ 「見直しをして続ける」ことの結果として、10 年後のあなたの地域の水田農業はどうなっていると思いますか。

- 1 : 必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している
- 2 : 十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない
- 3 : わからない

〔問1で4（「生産調整をやめるべき」と回答した方におたずねします）〕

＜問 4－1＞ なぜ、「生産調整をやめるべき」と考えていますか。

- 1 : 生産調整をやめたら、何のしがらみもなく、自由にお米を作ることができるから
- 2 : 生産調整をやめて価格が下がっても、販売数量を拡大し、生産コストを下げれば、所得を確保できるから
- 3 : 生産調整を続ける限り、達成者、未達成者の不公平感が解消できないから
- 4 : 地域内での達成者、未達成者間の対立がなくなるから
- 5 : 生産調整に係る煩わしい事務手続きをしたり手間をかける必要がなくなるから
- 6 : その他（ ）

<問 4-2> 「生産調整をやめる」ことの結果として、10 年後のあなたの地域の水田農業はどうなっていると思いますか。

- 1：必要な数の担い手が育ち、その経営が安定・発展している
2：十分な数の担い手も育たず、その経営も安定・発展していない
3：わからない

ご協力ありがとうございました。

農林水産省

米政策・水田農業政策に関するアンケート（消費者の皆様へ）

[調査票] 兼 [回答用紙]

本調査でご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはありませんので、ありのままを直接この用紙にご記入ください。

(それぞれ該当する選択肢の番号を1つ○で囲んでください。ただし、質問に「複数選択可」とあるものはのぞく。)

～はじめに～

この調査を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお伺いします。

1. 年齢を教えてください。

1 : 20歳代 2 : 30歳代 3 : 40歳代 4 : 50歳代 5 : 60歳以上

2. お住まいの地域はどちらですか。

1 : 北海道 2 : 東北 3 : 北陸 4 : 関東 5 : 東海
6 : 近畿 7 : 中国 8 : 四国 9 : 九州・沖縄

3. 農業や農政については主にどのような媒体から情報を得られていますか。

1 : 自身の経験から 2 : テレビ 3 : 新聞
4 : 雑誌、書籍 5 : 知人から聞いた
6 : インターネット
7 : その他 ()

4. あなたのご職業は何ですか。

1：農林漁業 2：自営業・自由業 3：会社員（役員含む）
4：公務員 5：パート・アルバイト 6：専業主婦（主夫）
7：上記以外（学生、無職など）

～農政全般についてお伺いします～

<問 1>

我が国においては、カロリーベースの食料自給率（食料に含まれるカロリー（供給熱量）を用いて計算した自給率）が4割であり、海外に食料の6割を依存していますが、農業、農村は、

- ① 農業所得の減少（6.1兆円（平成2年）→3.4兆円（平成17年））
 - ② 高齢化の進展（基幹的農業従事者（自分の職業が農業だと自覚している人）のうち65歳以上の割合は約6割）
 - ③ 農地面積の減少（耕作放棄地面積は38.6万ha（埼玉県とほぼ同じ大きさ））
 - ④ 構造改革の遅れ（稲作をはじめとする土地利用型農業においては、主に米作や麦作で生計を立てている農家の割合は約4割に過ぎず、野菜農家（約8割）、畜産農家（約9割）と比べ、依然として規模の小さい経営が多い）
- に直面しております。

このような我が国の農業・農村の状況について、どのように感じておられますか。

- 1：問題であり政策の見直しが必要であると思う
- 2：どちらかという問題であり政策の見直しが必要であると思う
- 3：どちらでもない
- 4：どちらかという問題であるとは思わない
- 5：問題であるとは思わない



～お米と生産調整（マスコミ報道で減反と言われているもの）について～

＜問 2＞ ここ 5 年程度で、あなたのお米の消費量は増えましたか、減りましたか。

- 1 : 増えた
2 : 変わらない
3 : 減った
4 : わからない

〔問2で3（お米の消費量が「減った」）と回答した方におたずねします〕

＜問３＞ なぜ、お米を食べなくなりましたか。
(以下から複数選択可)

- 1 : パンや麺などを食べる回数が増えたから
- 2 : おかずを増やしてご飯を食べる量を減らしているから
- 3 : ダイエットや健康のためにご飯の量を減らしているから
- 4 : お米は高いから
- 5 : 炊飯調理が面倒だから
- 6 : ご飯はおいしくないから
- 7 : その他 ()



<問 4> お米の生産調整（下の※をお読みください）は必要だと思いますか。

※

- 米の1人当たりの年間消費量は、この半世紀で半分（118kg（昭和 37 年）→ 61.4kg（平成 19 年））に減少してきました。この結果、日本の水田の約 6 割で主食用米の需要がまかなえます。
- 上の状況の下、生産調整は、
 - ① 米の需給の均衡を図り、米価の安定を図るために行っています。
 - ② 現在の政策は、単なる休耕（水田や畑などで何も作らないでおくこと）ではなく、主食用米を作る必要のない約 4 割の水田で、主食用のお米を作ることとを抑制し、自給率の低い麦・大豆・飼料作物等（いわゆる転作作物）を生産しようとするものです。
 - ③ このために平成 21 年度約 2 千億円（昭和 46 年からの約 40 年間で約 7 兆円）の予算を使っています。
 - ④ なお、麦や大豆の自給率（重量ベース：重さで計算した自給率）は、昭和 46 年の麦 14 %（うち小麦 8 %）、大豆 4 %（うち食用大豆 15 %）から、現在は麦 13 %（うち小麦 14 %）、大豆 5 %（うち食用大豆 21 %）となっています。
 - ⑤ 最近では、生産調整の 1 つのやり方として、米粉用米（米粉パン、米粉うどんに使われている、小麦粉の代替となるお米）や飼料用米（家畜のエサとなるお米）の生産も推進しています。

1：今後も生産調整は必要である

2：生産調整はやめるべきである

（2 を○で囲んだ方は以下の□のどちらかにチェックをしてください）

□麦・大豆などの自給率向上対策は別途講ずるべき

□何も必要ない

3：どちらとも言えない

4：わからない

〔問 4 で 1（「今後も生産調整は必要である」）と回答した方におたずねします〕

<問 5> なぜ、「生産調整は必要である」と思いますか。

（以下から複数選択可）

- 1：自給率向上のためには、お米を作る必要のない水田を有効に活用する必要があるから
- 2：米価が下がって農家の経営が成り立たなくなると困るから
- 3：その他（ ）

〔問4で2（「生産調整はやめるべきである」と回答した方におたずねします）

＜問 6＞ なぜ、「生産調整はやめるべき」と思いますか。
(以下から複数選択可)

- 1 : 何を生産するかは、農家が自分で考えるべきだから
- 2 : 主食用のお米の生産が増加し、お米の値段が下がるから
- 3 : 農業の競争力向上・コストダウンにつながるから
- 4 : 税金を投入すべきものではないから
- 5 : その他 ()

【以下の設問については、全ての方がご回答ください。】

＜問 7＞ 農家に対する支援についてどう思いますか。

(1) 支援の仕方についてどう思いますか。

- 1 : 農家の経営が成り立つよう、仮に税金での負担が増えたとしても、国からの補助金などで支援を行っていくべき
- 2 : 消費者が、少々高くても国産品を買うことにより支援し、税金による支援は維持又は小さくすべき
- 3 : 特に支援しなくてよい
- 4 : わからない

(2) お米については、大規模農家など主として農業所得で生活している農家（主業農家）が約４割、主として農業以外の所得で生活している農家が約６割を生産しています。こうしたお米を生産する農家への支援についてどう思いますか。

- 1 : 大規模農家など、農業所得で生活している農家を中心に支援すべき
2 : お米を生産する農家に広く支援すべき
3 : わからない

＜問 8＞ お米の値段が今後次のようになった場合、あなたはお米の消費量をどうしていこうと思いますか。

＜値段が上がった場合＞

- 1 : 増やしていきたい
2 : 減らしていきたい
3 : 変わらない
4 : わからない

＜値段が同程度の場合＞

- 1 : 増やしていきたい。
2 : 減らしていきたい。
3 : 変わらない
4 : わからない

＜値段が下がった場合＞

- 1: 増やしていきたい
2: 減らしていきたい
3: 変わらない
4: わからない

ご協力ありがとうございました。

農林水産省